

令和4年度 北薩地区ICT活用研修会（オンライン）

令和4年9月6日（火）

1 目的

一人一台の情報端末環境の中、ICT機器を授業のどのような場面で活用することが効果的なのか、事例発表や情報交換を通して、地区内における教職員の活用指導力の向上を図る。

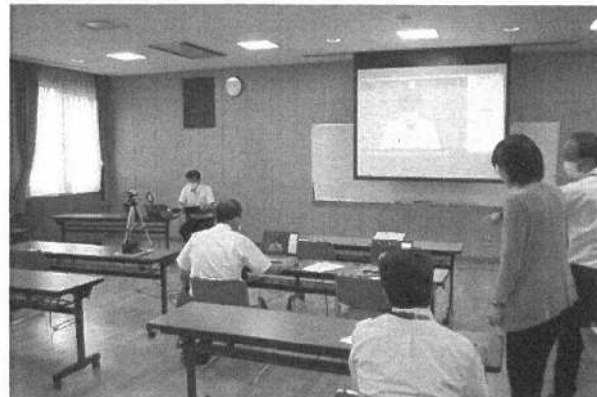
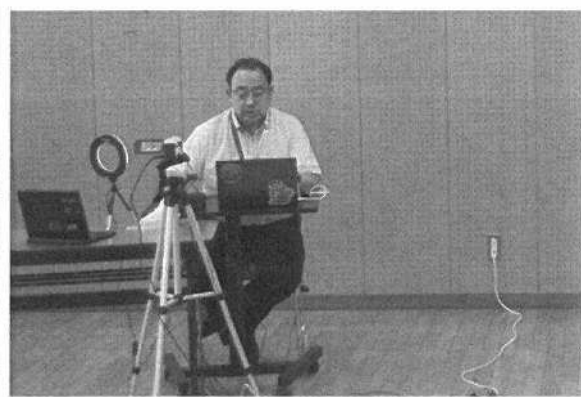
2 会場 北薩教育事務所

3 出席者 管内小・中・義務教育学校担当者等、各市町教育委員会指導主事等 101人

4 研修の内容

- (1) 開会の挨拶 北薩教育事務所 尾堂 秀一郎 所長
- (2) 講話：講師 中村 太一 指導主事（県教育庁高校教育課ICT推進班）
- (3) 事例発表：発表者 西柳 宏亮 教諭（阿久根市立脇本小学校）
前平 勝 教頭（薩摩川内市立水引中学校）
- (4) グループ協議
- (5) 閉会の挨拶 北薩教育事務所 堀之内 尚史 指導課長

5 研修の様子



演題 「県の施策及び現状について」

オンラインの様子

講師 中村 太一 指導主事

研修会では、まず中村指導主事が、県域教育用ドメインの導入や授業における一人一台端末の活用例等を説明されました。次に、事例発表では、今年度「みらいの学び推進事業」実践モデル校指定校の阿久根市立脇本小学校教諭と、薩摩川内市立水引中学校教頭から実践事例の紹介がありました。さらに、グループ協議では、各校の授業におけるICTの活用や校内推進体制について成果と課題を出し合い、協議しました。

参加者からは、「県の施策が具体的で分かりやすかった。」「他校と同じ課題を共有できて有意義な研修会だった。」などの意見が複数ありました。